

健康長寿に係る先進的な取組事例(概要版)

健康長寿ウォーキングマップ作成 & 医療費の現状把握

事業概要

「健康長寿埼玉モデル」実施を見送った状況の中、健康づくりの事業展開を「産業・健康・教育」の視点から関係課で話し合い、ウォーキングマップ作成の運びとなった。また、医療費について日常的に歩いていると思われる人と、同性同年代の比較グループを抽出し比較をすることとした。

事業内容(参加者数・予算等)

- 参加者・予算
町民・ウォーキング団体会員等、0円 他事業からの流用対応
- 庁内 3 課合同会議(6月～)
日常的にウォーキングし健康長寿を目指したマップを作成
- マップ作成の記念イベント
町長、副町長、教育長も参加し、史跡等にも触れながら作ったコースの一つを町民と共に歩いた。
- マップの配布、周知
町内の公民館等施設に配布するとともに、ホームページに公開。
新聞社の取材もあり、町広報誌にもマップ作成について掲載(予定)
- ウォーキング団体会員にアンケート
- アンケート協力者に医療費データの比較を行うためデータ提供協力の同意をもらった。対照群の抽出や現状比較は 12 月以降の作業となる。

事業効果

- マップ、ウォーキングイベントにより、歩くことへの興味を持ってもらえた。
- 地元の「美しい風景」を再発見でき、ウォーキングの身体への効果のみならず心のリフレッシュ効果がある。

その他

- 日常的に歩く習慣をどのようにつけてもらうか、「健康長寿埼玉モデル」等にも絡めた事業展開を考えたい。
- 関係者、関係団体と連携し、創意工夫した効果的なアプローチが課題である。